

## 特別賞

### 地球を壊すこと

赤坂中学校 中山 瑚都美

「今年の夏は去年より暑いな。」そう思ったことが、私が今回、地球温暖化にテーマを決めたきっかけです。

私は小学生の頃から「地球温暖化」という言葉や原因などを知ってはいましたが、あまり深く考えた事はありませんでした。けれど今年からさらに高くなりだした気温に「環境問題」という言葉だけでなく、身を持って思い知らされた気がします。私達人間が気候の変化に気づけるほど、今の地球は危機なのではないかと思えます。

「地球温暖化」と一言でいっても、その中には、さらに多くの環境問題が隠れています。例えば、絶滅種の増加、オゾン層の破壊、海水面の上昇などです。これらは、私達が日頃目にする機会がないものですが、確実に地球自体の破壊をすることにつながっていきます。地球自体を破壊するという事は、最終的には私達人間にとっても悪いことしか残らない、という事です。つまり地球温暖化の原因をつくったのは人間ですが、地球温暖化の被害を受けるのは、地球であり土地であり動物であり人間なのです。人間は自らの手で自らの居場所をなくしています。

ある少女はこんな事を語りました。「死んだ川にどうやってサケを呼び戻すのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。どうやって直すのかわからないものを壊し続けるのはもうやめて下さい」と。

私は今まで環境問題、地球温暖化という言葉だけで分かっている気になっていました。環境問題のほとんどは地球温暖化につながっています。地球温暖化を意識する一方で、やはりどこかで、大丈夫だと安心感を持っていました。地球温暖化を意味する一方、地球規模の事を私が何かする必要はないと思いついていました。私達一人一人が直そうと努力しても、多分、直すことは難しいです。けれど、私達一人一人が現状を認め、これ以上壊そうとしなければ、きっと、壊れないと、私は思います。